

マナカチャージ券が当たるクイズ付き！

ディガー

No. 17



名古屋市道路占用調整協議会ニュース

お待たせしました！

地下鉄桜通線野並・徳重間 3月27日開通！！

名古屋市交通局

平成18年2月から工事を進めてきた地下鉄桜通線延伸部の野並・徳重間4.2kmが今年3月27日（日）に開通します。新しくできる駅は、鳴子北駅、相生山駅、神沢駅、徳重駅の4駅で、それぞれの駅に2つずつ出入口があります。

鳴子北駅に新しく設置する市バス専用の発着所であるバスターミナルとともに、徳重駅にできた、バスの他に自家用車やタクシーなども乗入れできる交通広場を利用することによって、乗り継ぎも便利になります。

新しくできた4駅には、ホームからの転落防止のために、電車の扉が開くとそれに連動して開く可動式ホーム柵を設置しています。この可動式ホーム柵は、営業中の桜通線各駅についても平成23年7月にすべて整備を完了する予定です。

今回の桜通線延伸部の開通により、徳重駅から名古屋駅まで、現在の市バス・地下鉄を乗り継ぐ場合より15分短縮されて35分で行くことができ、都心へのお出かけが便利になります。



3月27日の開通に向けて準備中です！



「ディガー」って？

digは、英語で地面を「掘り起こす」意味です。そして、diggerは、「掘る人（機械）」を意味しています。

深いところで まちを守ります ～雨水貯留管～

名古屋市上下水道局

名古屋市上下水道局では、大雨からまちを守るために雨水を一時的に貯留する雨水貯留施設を数多くつくっています。この雨水貯留施設の多くは、道路の下に大きな雨水貯留管（雨水調整池）をトンネル工法でつくることが多くなっています。

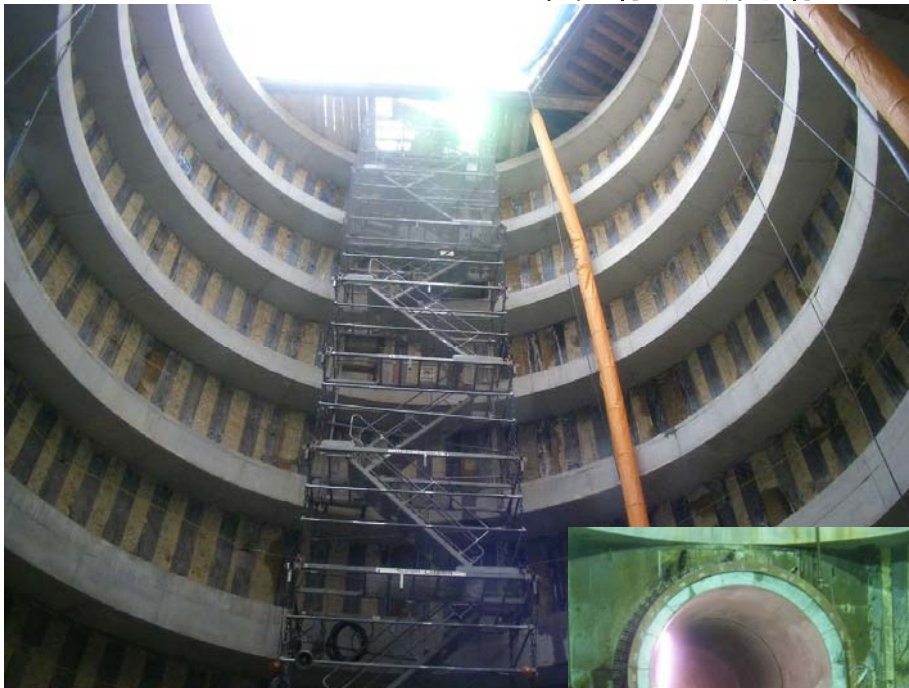
しかし、道路の下には既に水道管やガス管などたくさんの埋設物が設置されています。そのため、直径が3m以上になることもある雨水貯留管を設置できる位置は、どんどん深くなっており、中には地下鉄よりも深い位置につくっているものもあります。

現在、建設を進めている「土市雨水調整池」は地下鉄名城線、桜通線の下をくぐっており、その深さは地下25mほどにもなります。この深いトンネルは、大雨のときに道路に雨水があふれる前に一時的に雨水を貯めて、浸水被害を少なくするために活躍します。

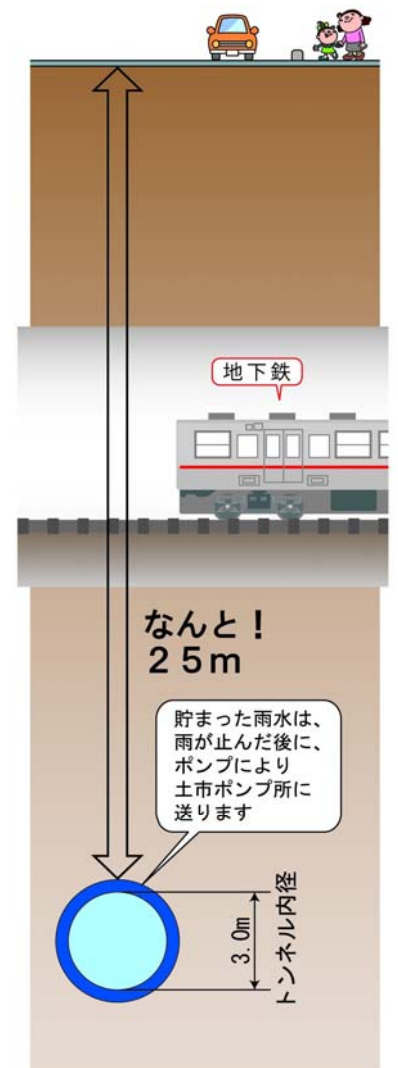


▼【土市雨水調整池の発進立坑(トンネルの発進基地)】

直径 約12m 深さ 約30m



▲【雨水貯留管 入口】



ライフライン + topics

災害時の通信の確保のために！！

西日本電信電話株式会社

多くの被害が出た阪神・淡路大震災。

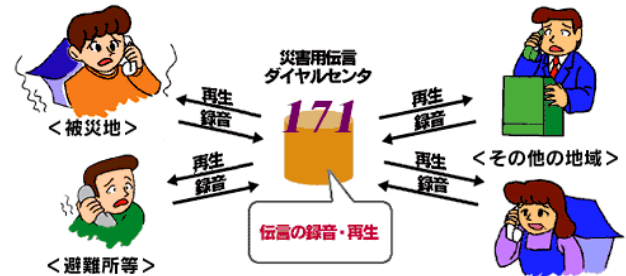
そのときの教訓を踏まえ、NTTでは災害に強い通信システムの実現に向けて取り組んできました。

「災害用伝言ダイヤル」

これは、被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言板」です。被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方がお聞きいただけるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。

市町村からのご要望により、避難所へ無料の公衆電話(特設公衆電話)を設置します。

被災者の方は、この特設公衆電話を利用し、災害用伝言ダイヤル(171)の利用や知人への連絡を無料で行うことができます。



▲災害用伝言ダイヤル「171」

被災地にいる方の状況が分かるだけでも、離れた場所にいる家族や知り合いは安心ですね。

万が一の災害時に備えて、災害伝言ダイヤル「171」は覚えておきましょう！



▲避難所への無料公衆電話の設置

ETC用電波吸収体を設置しています

名古屋高速道路公社

現在は高速道路の出入口にETCシステムがあり、車両と料金所とのシステムが電波によって必要な情報を交換し、自動的に料金の徴収を行っています。

ETCシステムは、常にETCアンテナより電波が発射されているのですが、乱反射して、隣接道路を走行する車両が高速道路の利用をしていないのに料金を徴収されるという事例がありました。

これを防ぐため、ETCシステムの上方に電波を反射する高架の道路がある場合には、電波吸収体パネルを設置し電波を吸収しています。

電波吸収体の設置は名古屋高速道路以外の高速道路においても実施しています。

助手席などに乗られた際は、料金所の上方を見ると電波吸収体を見つけられるかもしれませんね。

ETC用電波吸収体



道路知ったかぶり

こんなところに階段があるけど、これはどこかのお寺か神社への通路かな…？え？！名古屋市の道路なんだって。へえ～。



今回は、ちょっと変わった道路を紹介します。

名古屋市内は、高い山もなく比較的平坦な地形のイメージがありますが、市の東部には起伏に富んだところもあります。こうした地域では、まれに「これでは、人も車も通れんわ。」と思えるような急な坂道があります。こうした坂道は、写真①のようにやむを得ず階段にして人だけが通れるように整備しています。



▲写真①階段道路(千種区)

これらは『階段道路』と呼ばれています。

また、車は通れても歩行者にとって上り下りがキツイところでは、写真②のように歩道だけを階段にしている道路もあります。



▲写真②歩道だけが階段になった道路(千種区)

皆さんが見慣れている道路とは大きく違いますが、これも大切な名古屋市の道路です。

階段道路にも場所によっていろいろな表情があります。見比べてみるのも面白いかもしれませんね。

モグくんのクイズコーナー

問題 今号をよく読んで、次の3つの文章のうち正しいものを1つ選んで下さい。

- ① 地下鉄桜通線野並・徳重間はまだ工事中である。
- ② 上下水道局で建設している「土市雨水調整池」は地下鉄より深いところにある。
- ③ 名古屋高速道路では、電波吸収体パネルを設置していない。



答えを、今号の感想や質問と一緒に下記の事務局まで、はかき・FAX・Eメールでお送り下さい。正解者の中から、抽選で5名の方にマナカチャージ券1000円分をプレゼントします。(平成23年5月31日必着)

当選者の発表は発送に替えさせていただきます。

※応募はホー一人様一通に限らせていただきます。

編集後記

第16号のクイズの正解は①でした。

78名のご応募をいただき、抽選で5名の方にユリカをお送りしました。▼今回も貴重なご意見やご質問等が寄せられました。今後の紙面に反映していきたいと思えます。▼クイズの回答とあわせて皆様からのたくさんのご意見やご質問をお待ちしております。

次号は平成23年7月1日発行予定です。お楽しみに！！

発行日 平成23年3月1日

編集・発行 名古屋市道路占用調整協議会（事務局 名古屋市緑政土木局道路部道路管理課）

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL (052) 972-2851 FAX (052) 972-4167

ホームページアドレス <http://www.nagoya-dourokouji.jp> E-mail a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会は、道路工事の計画、工事の手順、方法などを調整する機関です。

名古屋市、国土交通省、愛知県警察本部、名古屋高速道路公社、名古屋市上下水道局、名古屋市交通局、西日本電信電話株式会社、中部電力株式会社、東邦ガス株式会社などで構成されています。